

リメイキンググループのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



リメイキンググループは、紙のリサイクル事業を通して資源循環型社会の形成を推進すること、またエコアクション21に基づく環境経営の徹底により、脱炭素社会の実現、持続可能な社会づくりに取り組みます。

SDGs の達成に向けたリメイキンググループの取り組み

リメイキンググループは、家庭や事業所から排出される紙類を回収し、国内外の製紙メーカーに原料として販売しています。紙製品の流通サイクルにおいて最も川下に位置するとともに、原料サプライヤーとして最も川上に位置し、紙のリサイクルチェーンをつなぎ資源循環型社会を支える要の存在といえます。

こうした自らの社会的価値を認識し、グループの成長がよりよい未来につながっていくよう、以下の重点項目に取り組んでいきます。

これらの取り組みを通して、リサイクルの領域を担うパートナーとして地域社会、団体、企業の課題を解決し、持続可能な社会づくりを目指していきます。

古紙リサイクル事業

紙の資源化により、可燃ゴミの削減、森林を守る事でCO₂削減に貢献します。

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



家庭や事業所から排出される紙のリサイクル率を高め、可燃ゴミとして廃棄される紙類を減少させることにより、焼却処分の際に発生するCO₂削減につなげます。

また、紙のリサイクル量が増加することで高品質の原料を安定的に製紙メーカーへ供給することが可能となり、森林伐採による木材パルプの使用量を抑制して森林資源を守ることでCO₂削減に貢献します。



地域社会と一体になった回収事業

リサイクルボックスの拡充で、資源リサイクルを地域社会と協働します。

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



安定的に良質な古紙回収を実現するためには、地域社会の理解と協力が不可欠です。

リメイキンググループは家庭や事業所を「紙の原料の供給源」と位置づけ、子供会や自治会主催の集団回収をはじめ、リサイクルボックス「FREE DROP(フリースドロップ)」の設置を拡充。

FREE DROPスポットがある学区(自治会・小中学校)への収益の還元、中部製紙原料商工組合の事業の一環として小中学校での出前授業への協力など古紙リサイクルの理解を促す啓発事業を通して、地域と一体となった資源循環社会づくりに取り組みます。



古着の回収事業

繊維資源リサイクルと世界の貧困格差の緩和に貢献します。

12 つくる責任
つかう責任



リメイキンググループが回収する古着は、委託業者を通じ選別加工され、反毛加工により繊維に還し再資源化することで工業用ウェス・自動車部材・建築資材に生まれ変わります。紙と同様の資源循環の一翼を担っています。



FC 岐阜支援活動

「ECO・サポ」による地元企業とのコラボレーション事業



コラボレーション事業「ECO・サポ」

また、FC岐阜をサポートする多くの地元企業とともに、コラボレーション事業「ECO・サポ」に取り組んでいます。

これは、事業の趣旨に賛同いただいた各社に古紙回収ボックスを設置し、収益の一部をFC岐阜のクラブ運営費として還元する仕組みで、スポンサー契約とは別に継続的な支援を行うことが狙いです。

リメイキンググループは、グループを挙げてFC岐阜のSDGsの活動に参加する一方、「ECO・サポ」のコラボレーション企業の拡大、利用促進にも取り組んでいます。



リメイキンググループは、本社のある岐阜県岐阜市をホームタウンとするプロサッカークラブ「FC岐阜」の発足時よりスポンサー契約を結び、その活動を支援しています。

ReMAKING GROUP



@FC GIFU



@FC GIFU

岐阜メモリアルセンター長良川競技場



ECO・サポ

エコカー導入による環境に配慮した営業活動の推進

社用車および営業車の一部には環境に配慮したHV、PHV車両を導入し、今後、入替・購入等に際し順次導入の検討を進めていきます。また、日常の企業活動を通して化石燃料由来のエネルギーの使用を削減し、CO2排出量の削減に貢献します。

電力デマンド監視装置の導入

リメイキンググループでは、電力デマンド監視装置を導入し、電力の「見える化」による従業員の節電意識の向上、電力のピーク月・曜日・時間を調整することによるトータルでの消費電力削減を目指していきます。また、LED照明の利用による、持続的な消費電力の削減に取り組み、日々の省エネ活動を通じ、社内・従業員の意識向上に務めています。

